

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月13日(火)

事務事業		道路行政企画調整事務		担当課	都市計画課	担当係	市街地整備係	管理番号	44313
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	交通アクセスの便利なまちづくり	根拠法令 個別計画等					
	小項目	1	道路・交通環境整備の推進						
	主要プロジェクト								
事業概要		計画的に幹線道路網を構築するため、都市計画道路をはじめとした長期未整備道路等の見直しを行い、幹線道路整備を効率的かつ効果的に推進するための幹線道路網を計画する。							
目的 ※何のために		限られた財源の中で整備効果を意識しながら、計画的に幹線道路網を構築するため。							
対象 ※誰・何を対象に		幹線道路							
手段 ※どのように		国の交通センサス等のデータを基に、市内の幹線道路網における交通需要を分析し、将来の幹線道路網を考案し計画策定する。							
成果 ※何を求めるか		少子高齢化、将来的な人口減少など社会情勢の変化に対応した道路ネットワークの構築、慢性的な渋滞ポイントの解消に向けた局所整備など、即効性の高い計画策定を行う。							
執行体制		<input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
本事業の 主な業務		・ 幹線道路網計画の策定					・		
		・ 都市計画道路の見直し					・		
		・ 利根川新橋建設促進期成同盟会					・		
		・ 国道17号(本庄道路)建設促進期成同盟会					・		
		・					・		
		・					・		

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		国道17号(本庄道路)建設促進利根川新橋建設促進期成同盟会	国道17号(本庄道路)建設促進利根川新橋建設促進期成同盟会	利根川新橋建設促進期成同盟会			
事業費	予算(現額)	0	0	0	0		
	決算額	0	0	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
		一般財源	0	0	0		
人件費	従事職員数(人)	0.40	0.42	0.40	0.40		
	人件費相当試算※	3,104,766	3,305,214	3,278,555	3,278,555		
総事業費試算		3,104,766	3,305,214	3,278,555	3,278,555		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	研究活動開催回数	目標値	回	0.00						
		実績値		0.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所		平成29年度に明戸橋建設促進研究会の構成市町と協議し、活動休止を決定した。							
	実績値の算出式									
活動指標 2	交通量調査・推計	目標値	式							
		実績値		0.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所		花園IC拠点整備、都市計画道路整備など施工中事業があり完成後の実施が適当である。							
	実績値の算出式									
成果指標 1	幹線道路網計画の策定	目標値	式							
		実績値		0.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所		花園IC拠点整備、都市計画道路整備など施工中事業があり完成後の実施が適当である。							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	長期末整備事業の見直しとして、平成28年度に新橋明戸橋の建設について精査し、明戸橋建設促進期成同盟会を社会情勢や財政情勢を踏まえインフラ整備は難しいと判断し明戸橋建設促進研究会に移行した。以降研究活動も休止し、明戸橋建設促進基金も令和2年6月議会の議決をもって廃止とした。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	幹線道路網計画の策定については、都市計画道路整備が進行中であるため、現時点で業務を実施するのは時期尚早であると判断する。このため、成果の評価を行うことは難しい。
			評価者 市街地整備係長 荒谷 匠

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	幹線道路網計画の策定については、効率的且つ効果的に事務を遂行するため、原郷上野台線や北通り線といった現在着手中の都市計画道路整備が完了した後に実施することとしている。
			評価者 市街地整備係長 荒谷 匠

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	土地利用を含めた市域内の主要幹線道路の整備が、各所で進行中である。これら事業がそれぞれ完成した場合は、交通需要が大きく変化することから、計画策定に適切な時期を見定める必要がある。
達成状況及び その効果	幹線道路網計画の策定については、効率的且つ効果的に事務を遂行するため、原郷上野台線や北通り線といった現在着手中の都市計画道路整備が完了した後に実施することとしている。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	道路行政企画調整事務	担当課	都市計画課	担当係	市街地整備係	管理番号	44313
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <p>幹線道路網計画の策定にあたっては、現在整備中である都市計画道路、県道深谷嵐山線等、大規模事業の進捗により今後市内の交通状況は大きく変化する。これらの事業の進捗を注視し、それぞれの完成時期を考慮したうえで、計画策定することが、効率的・効果的であることから、現時点での計画策定は見送りとする。</p>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	都市整備部次長兼都市計画課長 山中 勉				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	土地利用を含めた市域内の主要幹線道路整備が各所で進行中である。これらの事業がそれぞれ完成した場合は、交通需要が大きく変化することから、計画策定に適切な時期を見定める必要がある。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	土地利用を含めた市域内の主要幹線道路整備が各所で進行中である。これらの事業がそれぞれ完成した場合は、交通需要が大きく変化することから、計画策定に適切な時期を見定める必要がある。

8. 評価指標グラフ

